

第1節 延岡市の概要

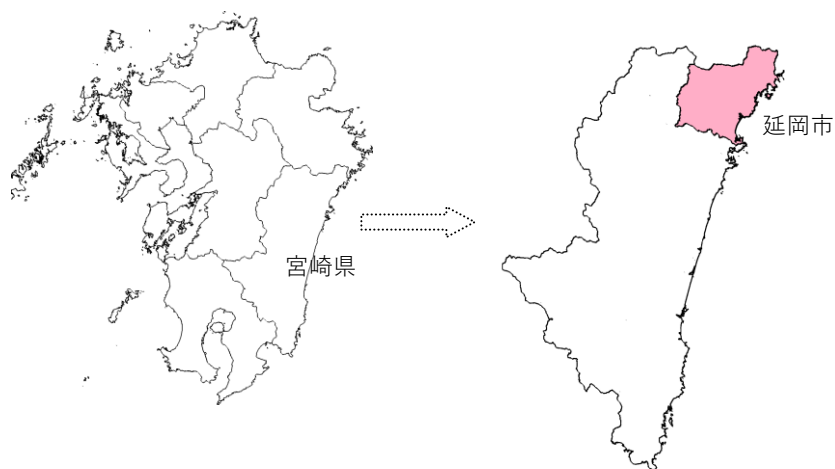
1. 位置及び地勢

延岡市は、宮崎県北部の東経131°39'54"、北緯32°34'56"に位置し、東は日向灘に面し、西は西臼杵郡日之影町、南は東臼杵郡門川町と美郷町、北は大分県佐伯市とそれぞれ接しています。

平成18年2月20日に北方町・北浦町と、翌年3月31日に北川町と合併したことで、面積が九州内の市では佐伯市に次ぐ広さになりました（令7年3月末現在868.02km²）。

東にはリアス式海岸の日豊海岸国定公園があり、西には大崩山や行藤山などの雄大な山々がそびえ、その奥には特色豊かな平成29年認定の祖母・傾・大崩ユネスコエコパークが広がっています。それらのすばらしい自然に囲まれて、平野部が南東域に太平洋を向いて広がっています。市内を流れる五ヶ瀬川は、九州山地を水源として全長106kmにも及び、大崩山付近を水源として流れる祝子川や大分県境から流れる北川と河口で合流し五ヶ瀬川水系を形成しています。このように海、山、川の大自然に恵まれた延岡は「水郷のまち」としても知られ、五ヶ瀬川の「鮎やな」は水郷延岡の象徴となっています。また、歌人「若山牧水」の育ったまちとしても有名であり、「なつかしき城山の鐘 鳴りいでぬ をさなかりし日 聞きしごとくに」などの代表作が詠まれました。その城山の鐘は、現在でも延岡市民に時を告げ続けています。

この豊かな水資源等の恵まれた立地条件を背景にした各種の化学工業を中心に、県内屈指の水産業、特色のある農林業などが発達し、多彩な産業と豊かな自然とが調和したまちとなっています。



延岡市章

周囲は延岡の「の」、
中央の「〇」は「べ」を示し、
全体は「岡」を示す。
(昭和9年3月28日決定)

市制施行	昭和8年2月11日
延岡市市民憲章	昭和38年2月11日
緑化都市宣言	昭和48年2月11日
健康都市宣言	昭和58年2月11日
延岡市長寿社会ハートフル憲章	平成5年2月11日
地球環境保全都市宣言	平成5年6月26日
男女共同参画都市宣言	平成12年1月15日
未来をひらく人づくり都市宣言	平成15年2月11日

- 市の木 「くろがねもち」
- 市の花木 「ふじ」
- 市の花 「カンナ」

2. 気象

本市は、太平洋に面した温暖な気候で、平均気温は近年17℃前後で推移しています。年間降水量は、2,000mmを越えることが多く、3,000mmを超える年もあります。日照時間は、毎年2,000時間を超えて全国的にも長く、恵まれた気候となっています。

令和6年度の気温及び年間降水量はほぼ平年並みでした。

図1-2において、長期的に見ると年平均日最高気温、年平均気温、年平均日最低気温とも緩やかに上昇しています。グラフから、50年間でそれぞれ、約0.9℃、約1.2℃、約1.5℃上昇しています。日本の年平均気温は、100年間で1.40℃上昇しています（気象庁、2025）。

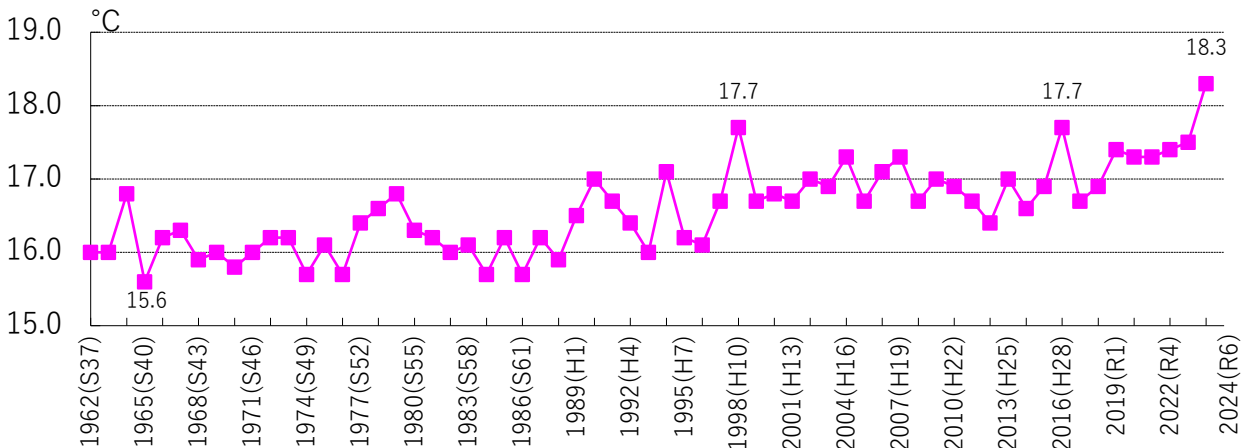
表1 気象年表（令和6年）

月	気温（℃）				降水量（mm）			日照時間（h）		風速（m/s）		
	最高	最低	平均	平年	最大（日）	合計（月）	平年	合計	平年	最大瞬間	平均	最大風速風向
1月	20.0	-1.7	8.2	6.8	5.5	10.5	59.4	210.2	191.2	17.1	2.4	西北西
2月	23.2	0.4	10.8	7.9	36.5	145.0	77.8	134.8	174.9	15.3	2.2	北
3月	26.3	0.0	11.7	11.1	81.5	199.0	145.5	214.4	187.2	16.6	2.4	西
4月	25.1	7.6	17.5	15.5	63.5	274.5	186.5	90.4	192.7	15.8	1.6	北北東
5月	31.0	8.2	19.7	19.5	133.5	290.5	250.6	172.7	185.1	18.5	2.1	西
6月	32.4	14.0	22.8	22.5	83.0	334.0	423.5	138.3	124.7	13.6	1.6	北北東
7月	36.1	22.5	28.0	26.3	43.0	143.0	276.5	265.9	186.1	8.7	1.8	東北東
8月	36.5	23.7	28.8	27	170.0	527.0	265.9	265.8	198.1	22.3	2.2	東南東
9月	32.8	18.1	26.6	24.1	45.5	155.0	368.2	201.0	156.5	16.6	2.0	北
10月	30.9	14.3	21.6	19.2	324.0	619.5	209.5	99.3	177.4	18.9	1.9	北
11月	26.5	3.9	15.7	13.8	19.5	61.0	105.0	166.2	167.6	15.8	2.2	北
12月	21.1	-2.1	8.4	8.6	0.0	0.0	66.3	231.5	187.3	16.5	2.6	西
年間	36.5	-2	18.3	16.9	324.0	2759.0	2435.6	2190.5	2130.0	22.3	2.1	東南東

※平年値は、1991年～2020年の30年間の平均値

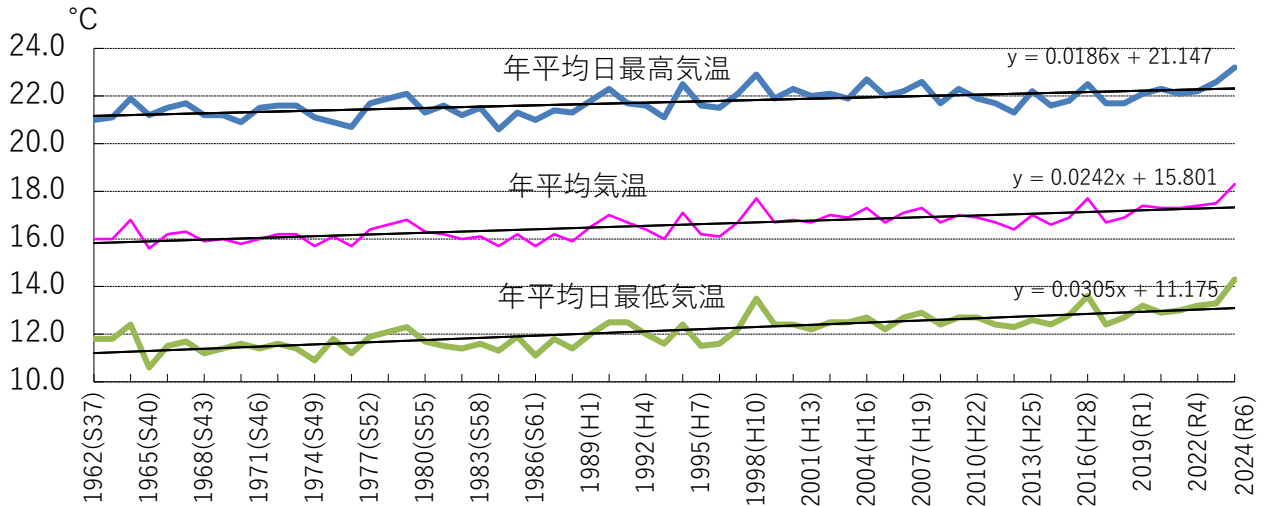
（気象庁HPデータより）

図1-1 年平均気温の変化



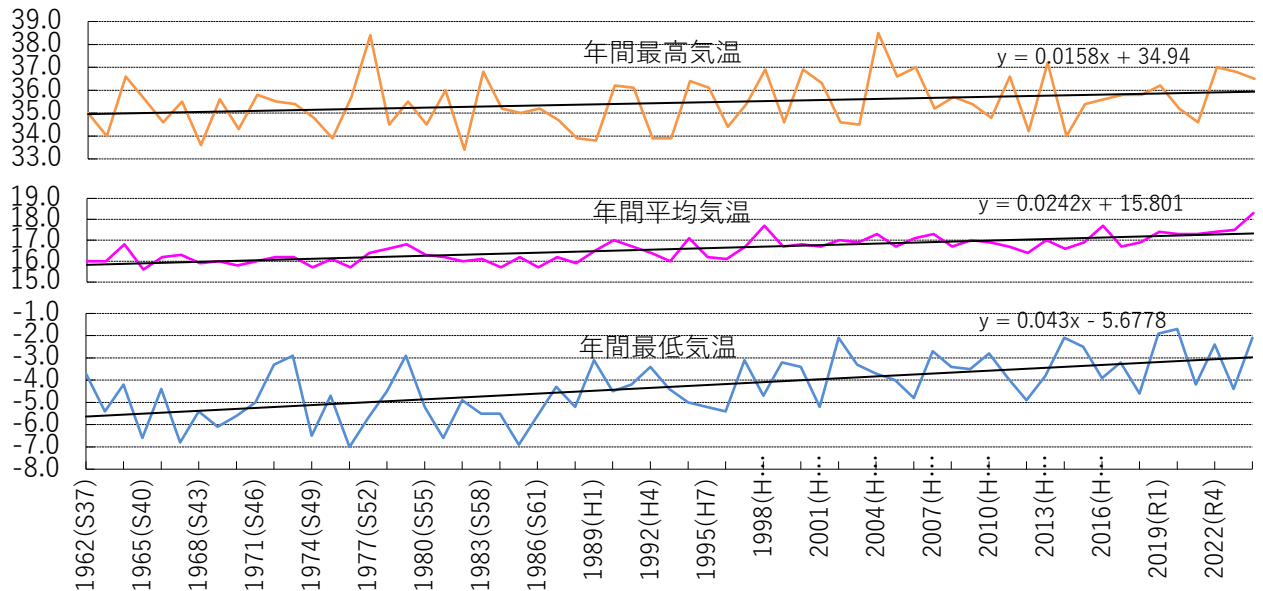
（気象庁HPデータより）

図1-2 年平均日最高気温・年平均気温・年平均日最低気温の変化



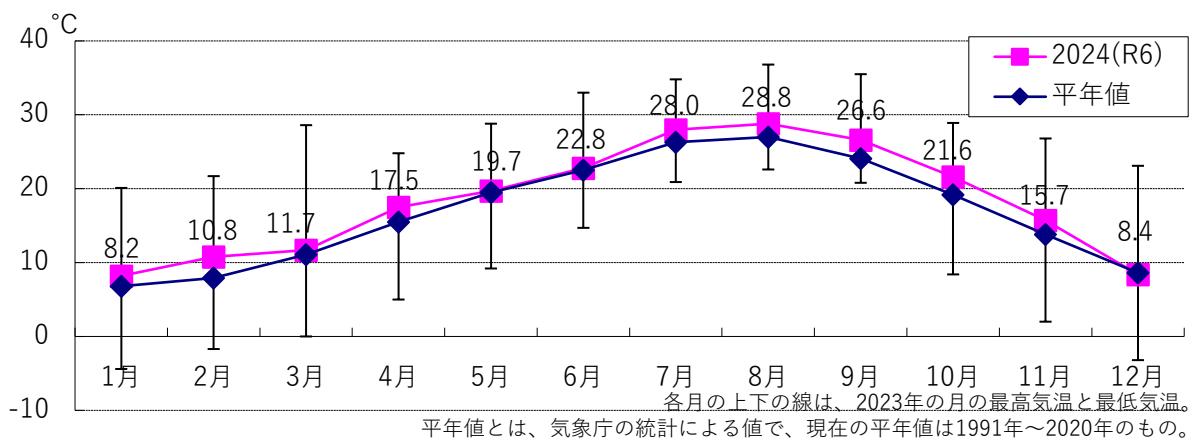
(気象庁HPデータより)

図1-3 年間最高気温・年平均気温・年間最低気温の変化



(気象庁HPデータより)

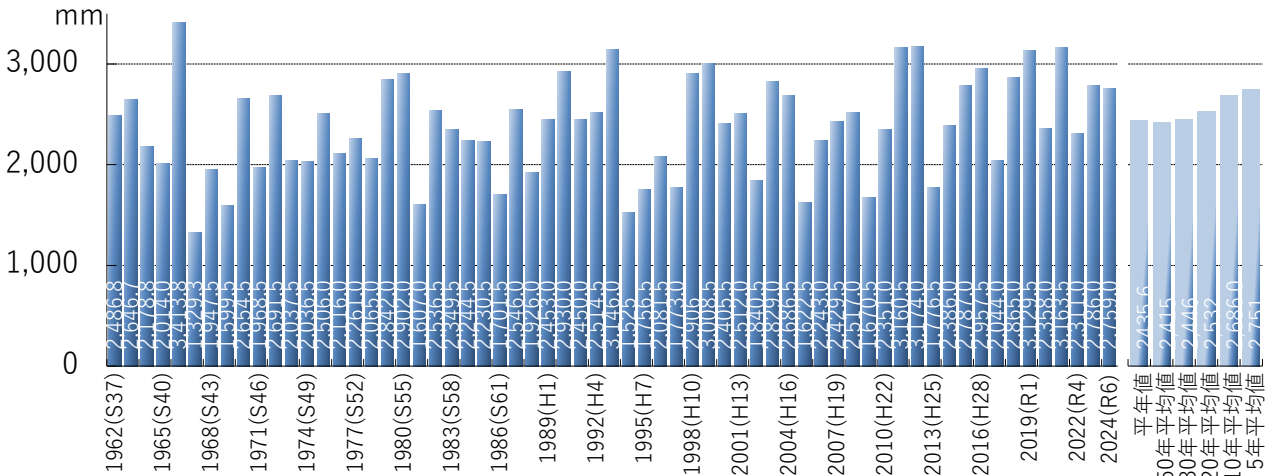
図2 月別平均気温変化



各月の上下の線は、2023年の月の最高気温と最低気温。
 平年値とは、気象庁の統計による値で、現在の平年値は1991年～2020年のもの。

(気象庁HPデータより)

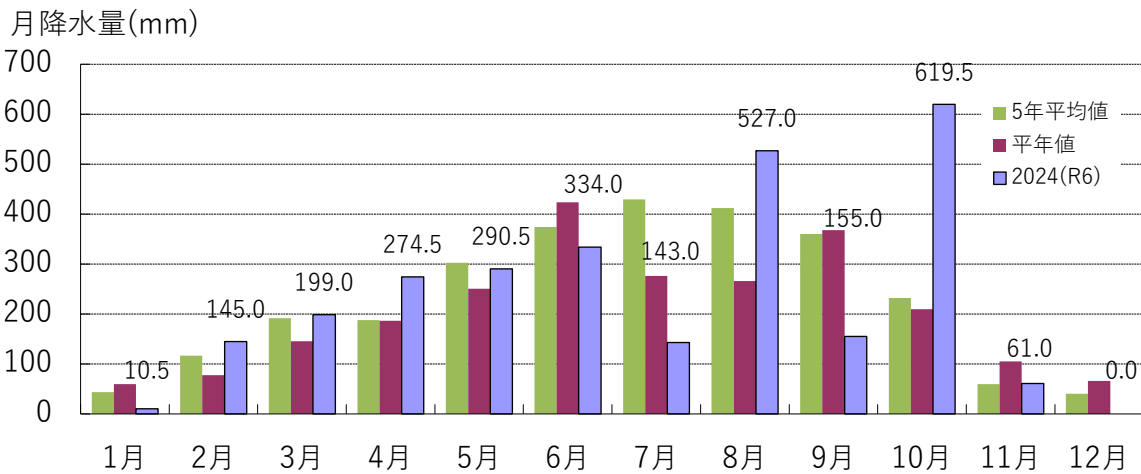
図3 年間降水量変化



○年平均値とは、それぞれ直近○年の平均値。
平年値とは、気象庁の統計による値で、現在の平年値は1991年～2020年のもの。

(気象庁HPデータより)

図4 月別降水量変化 (令和6年)

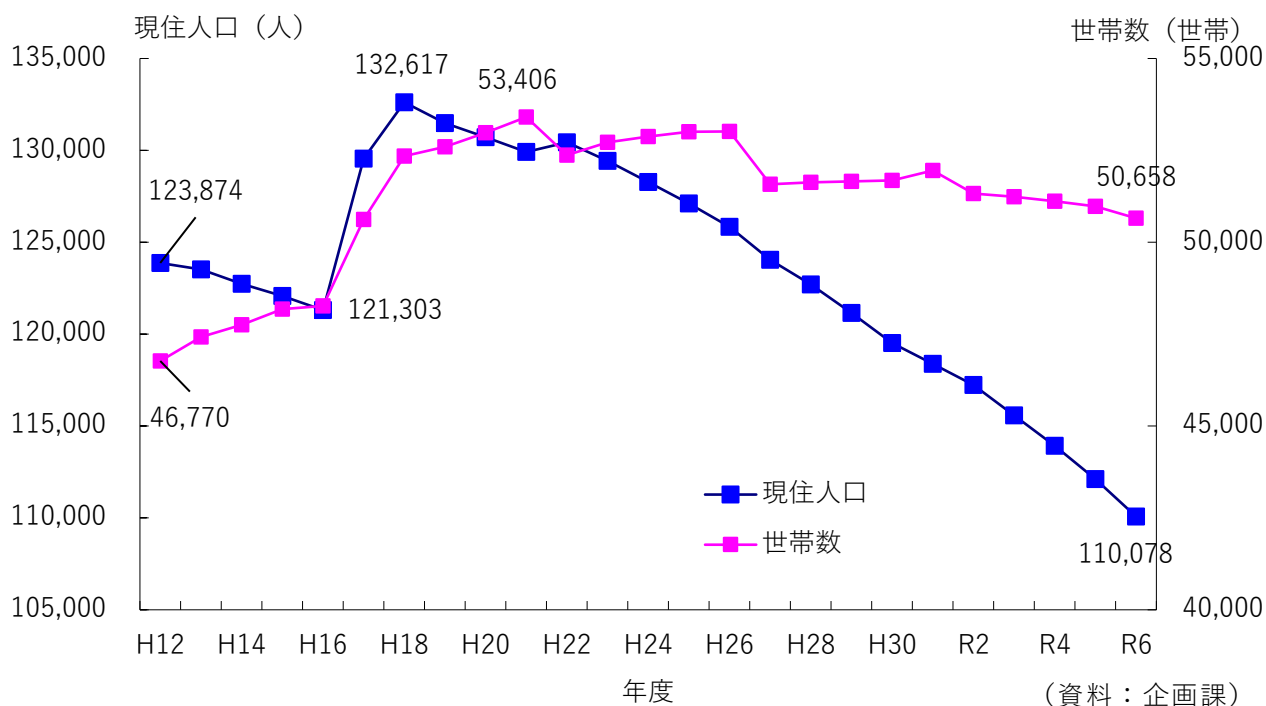


(気象庁HPデータより)

3. 人口

本市の令和7年4月1日現在の人口は110,078人（現住人口）で、1km²当たりの人口密度は約127人です。昭和40年代後半から約20年間は、人口13万人台を維持し、昭和60年頃から減少傾向にありました。平成18年2月20日に北方町、北浦町と、平成19年3月31日に北川町と合併し、約13万人となりましたが、その後減少傾向にあります。

図5 人口変化（毎年度4月1日現在）



4. 交通

本市の道路網は、九州の東海岸を縦断する国道10号を主軸として、本市と熊本市を結ぶ国道218号、南北浦海岸を南北に走る国道388号、大分市へ通じる国道326号を骨格として形成されています。長年の課題であった高速道路については、平成26年3月に東九州自動車道が市内の全区間共用開始し、九州中央自動車道（九州横断自動車道延岡線）も整備が進められています。鉄道は、南北に延びるJR日豊本線があります。

表2 車種別自動車登録台数（各年度末）

単位（台）

		R2	R3	R4	R5	R6
貨物自動車	普通、小型、被牽引、軽自動車四輪、三輪	19,045	18,988	19,021	19,094	19,024
乗合自動車	普通、小型	220	226	224	219	205
乗用自動車	普通、小型、軽四輪車	70,619	70,624	70,454	70,539	70,348
特殊自動車	特種、大型特殊	1,744	1,740	1,760	1,760	1,759
二輪自動車	小型二輪、軽二輪	3,184	3,416	3,602	3,703	3,764
原動機付自転車	原動機付自転車	7,462	7,162	6,883	6,669	6,424

(資料：九州運輸局宮崎運輸支局、市民税課)

5. 土地利用

表3 面積

延岡市の面積 86,802ha	都市計画区域	10,376ha	(12.0%)
	その他(都市計画区域外)	76,426ha	(88.0%)

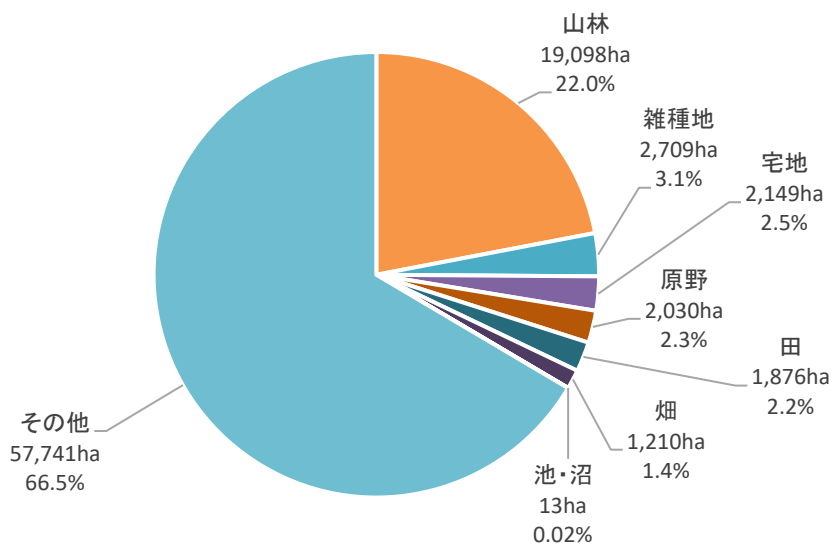
(資料：都市計画課)

表4 都市計画区域

都市計画区域 10,376ha (12.0%)	市街化区域 約2,510ha (2.9%)	住居系 約1,745ha (2.0%)	第1種低層住居専用地域	約176ha
			第2種低層住居専用地域	約29ha
			第1種中高層住居専用地域	約119ha
			第2種中高層住居専用地域	約553ha
			第1種住居地域	約697ha
			第2種住居地域	約171ha
			準住居地域	0ha
	商業系 約235ha (0.3%)	近隣商業地域	約152ha	
		商業地域	約83ha	
	工業系 約530ha (0.6%)	準工業地域	約233ha	
		工業地域	約71ha	
工業専用地域		約226ha		
市街化調整区域 (9.1%)			約7,866ha	

(資料：都市計画課)

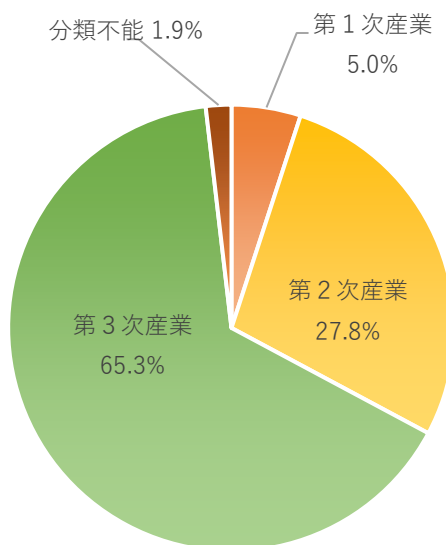
図6 地目別土地利用



(資料：資産税課)

6. 産業

図7 産業構造



(資料：令和2年国勢調査)
(※旧北浦町、旧北方町、旧北川町を含む)

7. 上水道事業

本市は、良質かつ豊富な地下水、伏流水などを水源としており、令和6年度末の水道普及率は98.90%です。

表5 水道事業（各年度末）

年度	年度末 給水人口	配水量 (m ³)			給水量 (m ³)		有収率 (%)
		年間配水量	日平均	日最大	年間給水量	日平均	
R2	114,650	16,378,360	44,872	51,645	13,956,818	38,238	85.2
R3	113,402	16,293,856	44,641	49,644	13,895,950	38,071	85.3
R4	111,793	15,953,735	43,709	51,043	13,614,509	37,300	85.3
R5	110,097	15,729,456	42,977	47,803	13,346,302	36,465	84.9
R6	108,116	15,649,146	42,874	47,284	13,194,659	36,150	84.3

(資料：水道課)

8. 生活排水処理事業（下水道事業など）

令和6年度末現在、本市における生活排水処理の普及率は94.3%です。

その内訳は、公共下水道が最も多い77.7%を占めており、次いで合併処理浄化槽や農業・漁業集落排水事業となっています。

表6 生活排水処理状況（令和6年度末）

	生活排水処理人口 (人)	普及率 (%)	処理場	
			数	名称
公共下水道（特環含む）	87,681	77.7	4	妙田、一ヶ岡、阿蘇、直海
合併処理浄化槽	14,352	12.8	-	-
農業集落排水処理事業	3,317	2.9	8	大野、大峽、熊野江、川水流、古江、北浦中央(地下)、市振
漁業集落排水処理事業	1,067	0.9	2	島野浦、宮野浦
合計	106,417	94.3	14	
人口（住基人口）	112,864			

特環とは、特定環境保全公共下水道のこと。

（資料：下水道課、生活環境課）

表7 下水道普及状況（各年度末）

	年度	R2	R3	R4	R5	R6
全体計画面積（A）	(ha)	2,725	2,725	2,725	2,723	2,723
供用（処理区域）面積（B）	(ha)	2,059	2,062	2,083	2,093	2,093
面積普及率（B/A）	(%)	75.6	75.7	76.4	76.9	76.9
行政人口（C）	(人)	120,013	118,369	116,704	114,895	112,864
供用（処理区域）人口（D）	(人)	91,799	90,829	90,056	88,636	87,681
人口普及率（D/C）	(%)	76.5	76.7	77.2	77.1	77.7
水洗化人口（E）	(人)	88,883	88,141	87,478	86,153	85,272
水洗化率（E/D）	(%)	96.8	97.0	97.1	97.2	97.3
分流・合流管延長	(m)	581,300	582,800	594,600	595,900	596,400
雨水管渠延長	(m)	41,500	41,900	42,700	43,800	44,300
処理場処理能力	(m ³ /日)	64,706	64,706	64,706	64,706	64,706
妙田下水処理場	(m ³ /日)	51,200	51,200	51,200	51,200	51,200
一ヶ岡下水処理場	(m ³ /日)	13,100	13,100	13,100	13,100	13,100
阿蘇処理場	(m ³ /日)	280	280	280	280	280
直海処理場	(m ³ /日)	126	126	126	126	126

（資料：下水道課）